



5月が始まりました。多くの子どもたちは新しい環境に慣れ、少しづつ自分のペースで園生活を楽しめるようになってきました。一方、連休が増えて生活が乱れがちになってしまって、生活リズムを崩さないよう注意してください。

春先のかぜ...

まだ朝夕は気温が低く、日中との気温差が大きいために、かぜをひいてしまう子どもが多くなっています。環境の変化で緊張が続き、心身ともに疲れがたまっているのかもしれません。初めて集団生活に入ったお子さんは特に、おうちでゆったりと過ごしてくださいね。

かぜかな?と思ったら

- 体を温かく保つ
- 栄養のある物を食べる
- 十分な睡眠と休養をとる
- 水分補給を心がける

熱がなくても、せきや鼻水が出るときは体調が不安定です。安静にして過ごしましょう。

鼻水が長引くのは病気のサイン!?

鼻は呼吸や病気の予防に役割を果たす大切な気管。気になる症状があったら、耳鼻科を受診しましょう！

かぜをひいていないのに、しょっちゅう鼻が詰まり、鼻水が出たりしている
→アレルギー性鼻炎や副鼻腔炎などの疑い

鼻詰まりがあり、しきりに耳を触る
→急性中耳炎の疑い

いつも目やにや鼻水が出ている
→鼻涙管閉鎖や結膜炎の疑い

目の充血、かゆみは要注意！

結膜炎

子どもの目が充血している、目やにが出る、かゆがる……そんなときは、結膜炎かもしれません。主な原因は「ウイルス」「細菌」「アレルギー」の3つです。

ウイルス性



目が開かないほど目の目やに

細菌性



黄色っぽい目やにと充血

アレルギー性



とても強いかゆみと充血

原因によって治療薬が違います。重症化することもあるので、自己判断せずに、病院へ行きましょう。

りんご病がはやっています

「りんご病」というとかわいらしさのイメージですが、ウイルスが原因の「伝染性紅斑」という感染症です。

症状

- ほほがりんごのように赤くなり、盛り上がる
- 腕、足、おしりに網目状の発しんが出る
- 热はあまり出ないが、かぜのような症状が出ることもある
- 発しんはかゆみを伴つこともある

ケア

- 症状がよければ特別な治療は必要ない

症状が出た時点ではすでに感染力はないので、登園停止の必要はありません。

妊娠中の人がかかると胎児に異常が出ることがあるので、接触に注意しましょう。

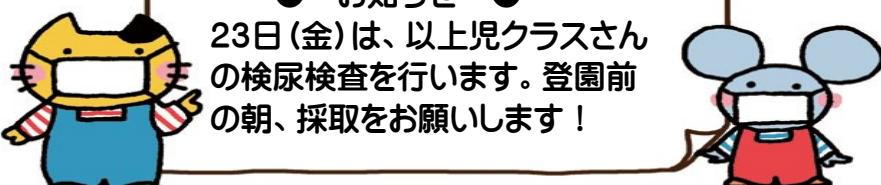
健康診断のお知らせ

28日(水)10時30分より 全園児

日ごろ気づきにくい病気を早く発見したり、成長を知ったりすることは、子どもの健康を守るためにとても大切です。医師に聞いておきたいことなどがあればお知らせください。また、当日はできるだけお休みがないようにお願いいたします。



●お知らせ●
23日(金)は、以上児クラスさんの検尿検査を行います。登園前の朝、採取をお願いします！



発熱後の登園について

熱が出ると体力が奪われて、体は一時的に弱った状態に。熱が下がってもすぐに登園せず、1日は家庭で様子を見ながら、安静に過ごさせてあげたいですね。また、朝、薬を飲んで登園したときは、忘れずにお知らせください。薬の種類によっては、眠気を催すものもあるので、園でも注意してまいります。よろしくお願いいたします。

